令和元度第二回荏田西コミュニティハウス委員会　議事録

【日時】 令和2年2月 15 日(土) 13:30～15:10
【場所】 荏田西コミュニティハウス　大会議室
【出席】 委員 13 名･･･欠席1名
　　公益社団法人　横浜市民施設協会事務局　事務局長
　　横浜市荏田西コミュニティハウス館長

1　開会･･･委員会会長挨拶

今年度2回目の荏田西コミュニティハウス委員会を開催します。

館長から今年度の利用実績や自主事業実績等について報告を受けた後、委員の方からの意見や提言をいただきます。日頃から運営にご協力をいただいている皆さんからの貴重な声をコミュニティハウスの今後の運営に活かしていく場ですので、よろしくお願いします。

2　報告事項･･･館長から説明

(1)　令和元年度(4 月～1月)利用状況(団体+個人利用分)

ア　一日平均利用者数は前年度 85 名に対し、86 名とほぼ横ばい。内訳では、女性が 68%と4%増、午前利用者が全体の 42%と2%増加となっている。

イ　図書貸出実績は、前年度 12 冊に対し 14 冊、+17%と大幅に増加している。

(2)　利用状況推移(平成 28 年度～令和元年度)

ア　今年度の一日平均利用者数は 86 名。平成 28 年度との比較では団体利用者数はほぼ横ばい、個人利用者は4名増となっている。全体の部屋の稼働率は 80%と高に水準にある。時間帯別では、「9～12 時」「12～15 時」とも 87%と非常に高く、「15～18 時」が 74%、「18～21 時」が 68%となっている。曜日別では日祝日に比して平日及び土曜日が高くなっている。

イ　図書貸出では毎年大幅な増となっており、今年度は児童図書の貸出が7冊から9冊と大幅に伸びる一方で、一般図書は5冊とほぼ横ばいとなっている。開館時 263 冊でスタートした蔵書が大幅に増えていることも大きな要因と思われる。

(3)　令和元年度自主事業(4月～2月1日)実績

ア　当館の特徴である『自治会等との協働事業』として「えだにし科学実験隊」や「荏田富士塚公園クリーンアップ活動」を定期的に実施すると同時に『コンサート』を実施した。

イ　利用者の多い子どもと保護者を対象に『子育て支援事業』として「親子ハロウィンオーナメントづくり教室」「親子クリスマスリースづくり教室」を新規に実施した。今後「子どもの個性・才能発見講座」「ママと子どもの広場」も予定している。

ウ　新たな事業の「やさしいナイトヨガ」には普段仕事等で利用できない方の利用が多く、他のサークル参加にも繋がった。公園内立地といった施設特性も活かした「ラジオ体操＆生活・健康ミニ講座」をビオラ市ヶ尾地域ケアプラザと連携して実施した。

エ　新規の自主事業については参加者アンケートを実施し、今後の企画に活用すると同時に講師にもフィードバックしている。アンケートを実施した4つの新規事業では「とても楽しかった 82%」「楽しかった 17%」と満足度の非常に高い結果となり、ニーズに即した事業になった。

(4) 令和元年度苦情対応状況等

ア 「小学生向け囲碁・将棋教室開催」の要望をいただいた。予算的な制約もあるので、利用者や自主事業参加者の意見等を聞きながら、多くの方に参加していただける事業を実施していきたいと考えている。

イ 「管理が厳しいところがあり、怒られるのも多い」「小学生の利用時間を17時から17:30に延ばしてほしい」といった意見をいただいた。全ての利用者に気持ち良く過ごしていただくため、利用ルールに反する場合はその都度注意をしている。小学生の利用時間については、安全上の配慮から小学校の取扱いにあわせている。それぞれご理解とご協力をお願いします。

(5) 令和元年度利用者アンケート結果

ア 10月末～12月中旬に、利用者にアンケートへの協力を依頼し、204件回収した。

イ 『受付スタッフの対応』では「とても感じが良い」+「感じが良い」で 96%と前年度と変わらず高い評価をいただいた。『利用案内等の掲示』については「わかりやすい」が 66%と対前年比11%減、『清掃の状態』では「きれい」が 95%となっている。「わかりやすい情報発信・提供」が今後の課題と考えている。

ウ 『広報』では「ホームページを見たことがある」は 55%、「広報よこはま区版施設からのお知らせを見たことがある」は 65%と、まだまだコミュニティハウスの存在や取組内容を広く知っていただくための工夫が必要と考えている。

エ 『自主事業で扱ってほしいテーマは？』については43件の意見をいただいた。
内訳では「子ども向け体験教室」「一般向け体験教室」「コンサート」「健康に関する教室・講座」の要望が多い。

オ 『運営等でお気づきの点は？』については53件の意見をいただいた。
「いつも明るい対応で気持ちが良い」「子どもたちの憩いの場になっていてありがたいです」といったプラスのご意見が28件、53%あり、とても励みになっている。
「いつも花がきれい」との意見をいただいているが、荏田西連合自治会の協力もいただきながら、前庭やエントランス付近に花を飾って来館者をお迎えするように努めている。
一方で、「駐車スペースの拡充」「衣類・持ち物の置き場所の確保」など様々なご要望をいただいた。駐車スペースについては、「コミュニティハウスは基本的には徒歩での利用を想定した施設」ですので、「団体ごとに1台利用」にご理解と協力をお願いします。

3 質疑・意見交換

・利用実績の説明を受けたが、他の施設との比較ではどうなのか？
→(事務局長)部屋の利用率は、施設協会が運営している地区センター・コミュニティハウスの中でも非常に高い実績となっている。

・スタッフの体制はどうなっているのか？課題はあるか？
→(館長)館長に加え、昼間主体のスタッフ2名、夜間主体のスタッフ2名で対応している。4名とも開館時以来の経験があり、特段の問題はない。

・学習室としての活用状況は？
→(館長)小会議室の利用がない時間帯には、サロンで学習している子どもたちに声掛けをしている。会議室が空いていることと学習している子がいるといった条件が揃うことが必要になるので、実績としてはそれほど多くはない。

・自主事業は誰が企画しているのか？予算はどの程度あるのか？

→(館長)利用者の要望や地域特性を踏まえて、スタッフと相談しながら企画している。新規事業についてはアンケートを実施し、参加者の声を参考に今後の事業を検討していく。今年度予算は 200 千円となっており、自主事業予算と参加費の合計金額内で事業を企画・実施している。自主事業の実施にあたっては、講師を探すのも大きな課題となっており、地域の人材については是非力を貸していただきたい。

・部屋の稼働率が非常に高くなっているが、自主事業にかかる利用はどの程度あるのか？会議室が取れないこともあるといった声を聞くことがあるが、利用団体の活動にしわ寄せがくるようなことはないのか？

→(館長)4月から 2 月 1 日現在で自主事業実施回数は 54 回、この間の会議室利用コマ数は約2千あるので、割合としては非常に小さい。稼働率の低い夜間帯の活用や定期的な利用時間帯を避ける等の工夫もしている。

・利用者アンケートの『運営等でお気づきの点は？』に「WIFI 整備2件」とあるが検討状況は？

→(事務局長)施設協会として前向きの方向で進めている。セキュリティーのことも含めて区役所とも調整を進めている。

・開館後一定期間が経過しているので、機器等の更新を計画的に進めていく時期に来ている。プロジェクターのバージョンアップや、安全面への配慮の点からも据え付けタイプのスクリーンへの切り替えが必要と思う。

→(館長)昨年秋頃から開館時に揃えた機器の修繕が多く発生している。予算の中で、利用者の声を聞きながら優先順位を見極めた上で対応していきたい。

・『ご意見』に対しての回答は、館内に掲示されるのか？

→(館長)「回答のみ館内掲示」はしていないが、コミュニティハウス委員会資料として、館内閲覧対象となる。

・「絆」はまちづくりの基本だと考えて、開館時に敢えて愛称『絆ハウス』を採用した。「あつまる・つながる・笑顔になる絆ハウス」に込めた地域の強い思いを、今後の運営の中でも是非活かしていってほしい。

・『絆ハウス』といった愛称を正式名称にはできないのか？

→(事務局長)施設の正式名称「横浜市荏田西コミュニティハウス」の変更はできない。

→(館長)荏田コミュニティハウスができたので、分かりやすくとの思いも込めて『絆ハウス～荏田西コミュニティハウス～』と表記するようにしている。『絆ハウス』の愛称だけで施設が認知されるよう努めていきたい。

4　その他

⑴令和2年度第一回委員会開催日程：令和2年6月 13 日(土)13:30～　→　確定

⑵令和2年度委員に変更がある場合は、4月末までに連絡をお願いします。

5　閉会・・・副会長から挨拶

委員の皆様、お疲れ様でした。皆さんに愛される、良い施設になってきていると感じている。引続き、地域としても応援していきたい。

【了】